

農地中間管理事業の推進に関する法律第26条第1項に基づく農業者等の協議について

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者の状況			4. 当該区域における農業の将来のあり方			5. 当該区域における農地中間管理機構の活用方針
		法人	個人	集落営農任意組織	取組事項	対応	コメント	
合渡	令和2年1月23日	2	19	0			<p>水田利用について、中心経営体である認定農業者への農地の集積・集約化と、中心経営体ではない農業者の農地利用が効率的に行えるよう、農地の利用調整を更に進めていく。</p> <p>また、地区外の認定農業者が地区内の水田の一部を利用して露地野菜を栽培しているため、調整を図る。</p> <p>地区内にJA全農岐阜いちご研修所があり、研修所の修了生が多く就農しており、既存のいちご生産者と合わせて産地が形成されつつある。</p> <p>引き続き、研修所修了生の就農に向けた支援を行い、担い手の育成及び産地化を推進していく。</p>	<p>平成26年度の制度開始以来、重点推進地域の指定を受けるなど、農地の集約化を目指し、農地所有者から機構への貸し付けを推進してきた。</p> <p>今後も、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていくこととし、中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸し付けを進めていく。</p>
方県	令和2年1月27日	7	13	2	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>方県地域のあり方としては、伊自良川水系に属する平坦部の農地は、大区画ほ場整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから、田として利用していく。また、観葉植物などの施設園芸を促進していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
				複合化	○			
				6次産業化	○			
				交付加価値化	○			
				新規就農の促進	○			
				その他[]				
黒野	平成31年1月25日	4	13	2	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>黒野地域の今後のあり方としては、農業生産基盤が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用していく。また、多品目の野菜、柿、梨など果樹の栽培を促進していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
				複合化	○			
				6次産業化	○			
				交付加価値化	○			
				新規就農の促進	○			
				その他[]				
木田	令和2年1月30日	1	9	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>木田地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから、田として利用する。また、いちご、枝豆など野菜の栽培を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
				複合化	○			
				6次産業化	○			
				交付加価値化	○			
				新規就農の促進	○			
				その他[]				
西郷	令和2年1月23日	6	11	2	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>西郷地域の今後のあり方として、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用していく。また、きゅうり、いちごなど野菜の栽培を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
				複合化	○			
				6次産業化	○			
				交付加価値化	○			
				新規就農の促進	○			
				その他[]				

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者の状況			4. 当該区域における農業の将来のあり方		5. 当該区域における農地中間管理機構の活用方針
		法人	個人	集落営農任意組織	取組事項	対応	
七郷	平成29年5月23日	1	8	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 七郷地域の今後のあり方としては、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、枝豆など野菜の栽培を促進する。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
網代	令和1年12月23日	7	16	1	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 網代地域の今後のあり方としては、板屋川水系に属する平坦部の農地は、農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対する条件を備えていることから、田及び柿園として利用し、傾斜地は、柿園として利用していく。また、プロッコリーをはじめとする野菜の栽培も促進していく。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
山県	令和2年1月28日	2	3	3		中心経営体である認定農業者を中心とした農地の集積・集約化を進める。	農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時安全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。
巖美	令和2年1月16日	3	5	0		中心経営体である認定農業者を中心とした農地の集積・集約化を進める。 米の需給調整を行うにあたり、不公平感がでないようにブロックローテーションの取組を継続する。	農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時安全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。
春近	令和2年1月24日	3	3	0		近隣地区から入作をしている中心経営体である認定農業者を中心に、農地の集積・集約化を進める。	農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時安全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における農業における中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者の状況			4. 当該区域における農業の将来のあり方		5. 当該区域における農地中間管理機構の活用方針
		法人	個人	集落営農任意組織	取組事項	対応	
長良	令和1年12月19日	0	0	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>長良地域の今後のあり方としては、ほぼ全域を畑・樹園地として利用し、いちご、ブドウなど野菜、果樹の栽培を促進する。</p>
					複合化	○	
					6次産業化	○	
					交付加価値化	○	
					新規就農の促進	○	
					その他[]		
常磐	平成30年1月22日	2	2	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>常磐地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから、田として利用する。傾斜地は樹園地として利用する。また、枝豆、柿など野菜、果樹の栽培を促進する。</p>
					複合化	○	
					6次産業化	○	
					交付加価値化	○	
					新規就農の促進	○	
					その他[]		
岩野田	平成29年5月31日	0	1	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>岩野田地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。</p>
					複合化	○	
					6次産業化	○	
					交付加価値化	○	
					新規就農の促進	○	
					その他[]		
三里	平成29年5月30日	0	1	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>三里地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。</p>
					複合化	○	
					6次産業化	○	
					交付加価値化	○	
					新規就農の促進	○	
					その他[]		
鏡島	平成29年4月21日	0	0	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>鏡島地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。</p>
					複合化	○	
					6次産業化	○	
					交付加価値化	○	
					新規就農の促進	○	
					その他[]		

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における農業における中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者の状況			4. 当該区域における農業の将来のあり方		5. 当該区域における農地中間管理機構の活用方針
		法人	個人	集落営農任意組織	取組事項	対応	
市橋	平成29年4月21日	1	3	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 市橋地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。	
日置江	令和2年1月28日	3	2	1	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 日置江地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、そら豆、ブロッコリーなど野菜の栽培を促進する。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
鶉	令和2年1月30日	1	0	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 鶉地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
芥見	令和2年1月24日	5	5	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 芥見地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、里芋など野菜の栽培を促進する。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
岩	令和2年1月27日	2	1	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 岩地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、里芋など野菜の栽培を促進する。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における農業における中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者の状況			4. 当該区域における農業の将来のあり方		5. 当該区域における農地中間管理機構の活用方針	
		法人	個人	集落営農任意組織	取組事項	対応		コメント
北長森	平成29年4月25日	2	0	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>北長森地域のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、キャベツ、ブロッコリーなどの栽培を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
					複合化	○		
					6次産業化	○		
					交付加価値化	○		
					新規就農の促進	○		
その他[]								
日野	平成29年4月20日	1	1	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>日野地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。</p>	
					複合化	○		
					6次産業化	○		
					交付加価値化	○		
					新規就農の促進	○		
その他[]								
鷺山	令和2年1月24日	1	2	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>鷺山地域の今後のあり方としては、中濃用水区域の農用地は主に田として利用し、向井地区は畑として利用する。また、大根、ほうれん草などの栽培を推進する。鷺山地区は、市街化区域内の農地が中心であるが、専業農家が多い地域であり、優良農地を保全管理し、岐阜の特産である枝豆・ほうれん草・大根等の産地拡大に努め、安全・安心と環境に配慮した農業を促進していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
					複合化	○		
					6次産業化	○		
					交付加価値化	○		
					新規就農の促進	○		
その他[]								
則武	平成29年5月31日	0	4	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>則武地域の今後のあり方としては、市街化区域内の農地が中心であるが、専業農家が多い地域であり、優良農地を保全管理していく。しかし、高齢化と農地の減少・農産物価格低迷等の問題も抱えているが、岐阜の特産である枝豆・ほうれん草・大根等の産地拡大に努め、安全・安心と環境に配慮した農業を促進していく。</p>	
					複合化	○		
					6次産業化	○		
					交付加価値化	○		
					新規就農の促進	○		
その他[]								
島	令和1年12月19日	0	14	0	生産品目の明確化		<p>岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稲のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。</p> <p>今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。</p> <p>各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。</p> <p>島地域の今後のあり方としては、市街化区域内の農地が中心であるが、専業農家が多い地域であり、優良農地を保全管理していく。しかし、高齢化と農地の減少・農産物価格低迷等の問題も抱えているが、岐阜の特産である枝豆・ほうれん草・大根等の産地拡大に努め、安全・安心と環境に配慮した農業を促進していく。</p>	
					複合化	○		
					6次産業化	○		
					交付加価値化	○		
					新規就農の促進	○		
その他[]								

1. 協議の場を設けた区域の範囲	2. 協議の結果をとりまとめた年月日	3. 当該区域における農業における中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者の状況			4. 当該区域における農業の将来のあり方		5. 当該区域における農地中間管理機構の活用方針	
		法人	個人	集落営農任意組織	取組事項	対応		コメント
南長森	平成29年4月26日	2	0	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 南長森地域の今後のあり方としては、すでに農業生産基盤の整備が完了しており、大型機械に対応する条件を備えていることから田として利用する。また、ブロックリー、ネギなどの栽培を促進する。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
茜部	令和2年1月16日	2	1	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 茜部地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
厚見	平成29年4月26日	1	0	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 厚見地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。	・地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける ・担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
本荘	平成29年4月21日	0	0	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 本荘地域の今後のあり方としては、遊休農地・耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大・担い手の育成を図っていく。	
柳津	令和2年1月27日	1	4	0	生産品目の明確化 複合化 6次産業化 交付加価値化 新規就農の促進 その他[]	○ ○ ○ ○ ○ ○	岐阜市の農業の現状は、農業従事者の高齢化、農家数の減少、担い手不足などの問題を抱えているが、これらの諸問題の解決に取り組みながら、交通環境にも恵まれ消費地に近いという環境にある中部圏の中核都市として、水稻のほか、枝豆、ほうれん草、いちご、だいこん、柿などの園芸作物を供給する役割を担ってきた。 今後は、多くの優良農地を有していることから、意欲ある農業者の育成を目指し、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けた経営改善を支援するとともに、新たな担い手を確保・育成するため、新規就農者が就農しやすい環境づくりを積極的に進めていき、6次産業化の推進、農商工の連携、耕作放棄地の解消を図っていく。 各地区の土地利用区分については、各地区における土質、水利、農地の整備状況など、地区の実態や特色を考慮して、都市近郊という地の利を生かした適地適作及び地産地消を主眼とし、安心・安全な農作物の生産を目指す。 柳津地域の今後のあり方としては、遊休農地や耕作放棄地を有効活用し、作付面積の拡大、担い手の育成等を図っていく。	